



# 全大教

全国大学高専教職員組合 発行所  
Faculty and Staff Union of Japanese Universities

毎月1回10日発行（1部30円）組合員の購読料は組合費に含まれています

第248号 2010年2月10日

全大教のホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp>

◆全大教の紹介  
◆大学・高等教育に関する情報など

◇情報の提供やお問い合わせは全大教情報宣伝部まで  
Eメール [josen@zendaikyo.or.jp](mailto:josen@zendaikyo.or.jp)

〒101-0051東京都千代田区神田神保町2-14朝日神保町プラザ201  
TEL 03(3262)1671/FAX 03(3262)1638

## 2010年度 新政権初の政府予算 積極面と課題も

### 運営費交付金は6年連続減少

全大教は1月14日、来年度予算について文部科学省と会見を行いました。文科省から国立大学法人支援課永山課長、手島補佐等5人、全大教から長山、松井副委員長、森田書記長、竹中書記次長、森戸書記次長、藤田中執6人が参加しました。（詳細は別途通知を各単組に送付しています。）

#### ① 2010年度運営費交付金について

##### ① 一律1%削減方針を見直す

【文科省】来年度運営費交付金は1兆1585億円、前年比11.0億円の△0.9%。2006骨太方針「に基づく1%削減方針」に基づく1%削減方針は撤廃した。その上での臨時的減額である。なお、来年度運営費交付金で措置される予定だった病院の基盤的設備整備等予算82億円が、今年度第2次補正で前倒して措置された。これを加味すると△28億円で0.2%の減といえる。

##### ② 「経営改善係数」の廃止

【文科省】来年度の一般運営費交付金算定では、一律1%の効率化係数を見直した。病院運営費交付金も一律2%の増収を求めていた経営改善係数を廃止した。



【全大教】

##### ③ 運営費交付金「臨時的減額」の内容

【文科省】一般運営費交付金の「臨時的減額（120億円）」を実施した。これは各法人毎に一般経費に対して次の削減率を乗じた金額。附属病院のない法人（42大学）は1%、附属病院のある法人（30大学）は1.8%、平成22年度に病院運営費交付金の交付金を受ける法人（12大学）は1.8%。

4%、平成22年度に病院運営費交付金の交付金を受ける法人（12大学）は1.8%。

#### ④ 病棟の運営費交付金の増

【文科省】288億円で59億円の増。「特別運営費交付金」への「地域医療拠点体制等充実支援経費」の新設（101億円）等による。民主党マニフェストも「病院運営費交付金を従来水準に回復する」と言っている。

#### ⑤ 奨学金、授業料免除

【文科省】奨学金費と人員を3万5千人増やし、支給時期も7月を4月に早期化する。授業料免除枠も5.8%を6.3%に拡大している。

#### ⑥ 国立大学のあり方

【文科省】行政刷新会議は「事業仕分け」で「国立大学のあり方を含めて見直しを行う」とした。どのような状況か。

#### ⑦ 新算定ルールは未定

【文科省】第2期中期目標期間における新算定ルールはまだ財務省と協議中である。

#### 【文科省】



（※全大教は来年度政府予算案に対する中央執行委員会見解を公表。声明全文は全大教HPに掲載中。）



### 今月の紙面

- ◆ 単組からのレポート  
茨城大学工学部「不利益変更に反対し人件費100%返還実現！」
- ◆ 山梨大学「復活」職場懇談会「組合活動の原点」
- ◆ わたしもひょうと
- ◆ 文科省高井政務官に年頭あいさつ・懇談
- ◆ 全大教高専協議会第20回総会
- ◆ 第21回青年部学習会・総会
- ◆ 3面  
大学人インタビュー  
大阪大学教授 工学博士 河崎 善一郎氏
- ◆ 4面

## 全大教加盟にあたって

久留米高専教職員組合 執行委員長 小宮厚

久留米高専教職員組合は、2003年12月に結成されました。組織率が8割を超えていたことにも現れているのですが、教職員の生活を守るためには組合が必要であるという共通理解が組合結成を促したのではなく、当時本校に特殊の事情があったその反発として意思表示されたのが組合の結成でした。労働者の権利を前面に出して成った組合ではありませんでした。

結成当初から全大教への加盟は話題としてあがっており、ただ、先のような成り立ちから来る当校組合の性格や、全大教加盟にたいする漠然とした危惧、慎重論、経済的な負担増などの理由により加盟は今日まで見送られてきました。



△左より城野執行委員、富永執行副委員長、小宮執行委員長、福田執行委員

その間も全大教からは貴重な情報をいただき、それまではあまり考えもしなかった自らが置かれている境遇、例えば高専は一般公務員より給与が低い、といったことが自然と、我々にとって問題であるとの自覚が起って来たと思われまます。また全大教の活動が我々の生活に直接影響するものであることも知りましました。そうしたとき、昨年の8月に全大教から当組合へ直接出向かれ、全大教への加盟を勧誘される際にされたお話が、我々を強く後押しすることとなって、わが組合は全大教に加盟することになりました。現在の課題の主なものには、超過勤務時間の偏りによる過重労働、変形労働時間制では平日に休めない、日々雇用職員の待遇改善、給与決定方法の開示などがあります。今後とも宜しく、お願い致します。